

令和3年度

## 百々小学校 学校経営方針

### 学校教育目標

自分も友だちも大切にし 笑顔あふれる学校

～学び合い 心豊かで 元気な子の育成～

### めざす子ども像

- 1.自分の思いを 表現する子ども
- 2.何事にも チャレンジする子ども
- 3.みんなを笑顔にできる 思いやりのある子ども
- 4.心も体も健康で たくましい子ども

### めざす教職員像

- 1.一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- 2.教育への熱い意欲をもち, 子どもと共に成長する教職員
- 3.授業力の向上に努める教職員
- 4.児童・保護者・地域に信頼される教職員
- 5.人間関係を大切にする教職員

### めざす学校像

- 1.「チーム百々」として教職員が共通理解を図りながら, 学校全体で, 子どもを育成する学校
- 2.保護者・地域と連携し, 信頼される学校
- 3.子どもも大人も, 笑顔かがやく学校

# 学校経営方針

「一人一人のよさや可能性をいかした活力ある学校運営」

人権尊重の教育を基盤とした学級経営

## ○確かな学力の定着

①組織力を高め、一人一人を徹底的に大切にしきる教育活動を推進する。

- ・学校教育目標の共通理解・協働意欲・コミュニケーションの徹底
- ・教科担任制・交換授業を効率的に進めた学力の向上
- ・ジョイントプログラムにおける「みえる学力」の向上
- ・学校経営・学級経営を基にした教職員の自己目標の推進
- ・学年主任・他の各主任等を中心とした組織力の強化
- ・校内研究を推進し、児童の実態に即した授業づくりの実践
- ・問題解決的な学習活動を展開し、主体的、対話的で深い学びの推進

②「分かる」「できる」「楽しい」が実感できる普通授業を充実させる。

- ・言語活動を充実させ、コミュニケーション能力を育成
- ・学校総体で「みえない学力」を推進
- ・単元を通して指導と評価の一体化を目指す授業を展開
- ・基本的な授業の流れやノートへの記述、教室の掲示物等を共通化
- ・G I G A構想（ＩＣＴを活用した授業の展開）を学年に合わせて推進

③自学自習の習慣化を図る。

- ・授業と連動させ、系統立てた家庭学習を実施
- ・○つけ、提出の仕方等、宿題システムの組織化
- ・読み取りおけいこ 計算チャレンジ プリントの活用
- ・効果的な自主学習の方法を獲得し、自学自習を促進

④保幼小中連携を進める。

- ・新1年生がスムーズに就学できるように、スタートカリキュラムを充実
- ・小中でつけたい力を明確に共有し、系統立てた授業を実践した学力の向上
- ・定期的に保幼小中連携会議を行い、情報を共有し切れ目のない支援

⑤総育的支援の充実を図る。

- ・個別の指導計画、個の課題に応じた指導計画を活用し、普通授業の中での支援の充実
- ・保護者との連携を密にし、合理的配慮等、目指すべき子どもの姿の共有
- ・他機関との連携を充実させ、個々の困りに対する組織的な対応

## ○豊かな心の育成

### ①人権教育の充実を図る。

- ・年間計画を作成し、人権意識の高揚と実践
- ・人権教育研修の充実を図り、教職員の人権感覚の向上
- ・各種の校内外研修会を通して人権意識の向上と発見
- ・あたりまえのことをあたりまえにできる「かっこいい百々っ子」の推進

### ②「道徳」の充実を図る。

- ・「道徳」の授業で身に付けた力を日常の行動に顕在化
- ・ふれあいトークの実施等、地域との共通理解、連携を推進
- ・道徳科において多様な指導方法による授業改善を推進

### ③規範意識の育成を進める。

- ・あいさつを徹底し、好ましい人間関係の構築
- ・社会のきまりや学校の約束の共通理解の徹底
- ・人として当然守るべき確実な規範意識の高揚を図る。
- ・いじめ、暴力等、社会で許されない行為など毅然たる姿勢で指導を徹底
- ・教職員による組織的な「見逃しのない観察」の推進
- ・地域やP T Aと連携し、様々な場面で規範意識を育てる取組を実践

### ④好ましい集団作りを進める。

- ・学級、学年を基盤とした認め合い高め合う集団作り、心の居場所作りを確立
- ・たてわり活動を充実させ、異学年集団のつながりの深化（児童会活動の活性化）
- ・様々な立場や心身の特性、考え方を認め合い、理解し合えるような集団作りを推進
- ・すべての教育活動の中で生徒指導の三機能の視点「自己存在感」「自己決定の場」「共感的人間関係」を大事にした、自己指導能力の育成

### ⑤多くのつながりを活用する。

- ・S Cや他機関との連携を深め、アセスメントシートや個別の指導計画を活用したケース会の充実
- ・地域各種団体と連携し、教育活動の充実や子どもたちの安心感の涵養

## ○健やかな心と体の育成

①体を動かす爽快感、達成感を味わえるような体育の授業の充実を図る。

- ・ジャンプアッププロジェクトの取組を通して、体を動かす楽しさを実感

②飲酒、喫煙、薬物の有害性を説く。

- ・生涯にわたり行動化できるように、地域やPTAとも連携しながら取組を推進

③自身を守る知識を身に付け、適切に行動できる安全教育の充実を図る。

- ・校内の安全点検の徹底し、外部に向けてもその実績について広げ安心感を養う

- ・地域の見守り活動と連携し、災害発生時等、課題や成果について共有し実行

- ・教職員、保護者、地域の三者がリスクマネジメントについて共有し、安全教育の推進

- ・個々の困りや特性に応じた構造的な環境整備を推進

## **今年度徹底する取組**

1. 確かな学力の育成：すべての子どもが「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる、一人一人に応じた授業をめざし、効果的な指導方法や指導体制の工夫改善を図る。**(教科担任制・交換授業を最大限に活用)**
2. 豊かな心の育成：あたりまえのことをあたりまえにできる「かっこいい百々っ子」と、ほめて伸ばす**「百々プロジェクト」**の推進を図る。
3. 健やかな心と体の育成：基本的生活習慣の確立（「早寝・早起き・朝ごはん」と歯磨き）

# かっこいい百々っ子になるために

きょうとしりつ どしょうがっこう  
京都市立百々小学校

- 1 学習の準備をきちんとしましょう。
  - 2 協力してそうじをしましょう。
  - 3 自分から元気よくあいさつをしましょう。
  - 4 時間をまもりましょう。
  - 5 ひとはなしめみこころさいこき 人の話を目と耳と心で最後まで聞きましょう。
  - 6 じぶんおもはな 自分の思いをしっかりと話しましょう。
  - 7 ていねいな言葉づかいをしましょう。
  - 8 はきものをそろえましょう。
  - 9 ろうかは歩きましょう。
  - 10 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える  
すなおこ 素直な子にないましょう。
- あたりまえのことをあたりまえにしましょう。